

ウミネコが羽ばたく町のシンボル

白い大きな屋根は、女川の港で羽ばたくウミネコをイメージしています。設計は建築家の坂 茂氏。JR女川駅と「ゆぼっぼ」とを兼ねたこの施設と、ここから女川湾へとつなぐプロムナードは「生まれ変わる」町の中心となります。

町の「なか」と「そと」をつなぐ交流の拠点

JR女川駅と併設する「ゆぼっぼ」は、女川の人々と町外から訪れる人々が集まる交流の場となります。1階には町のさまざまな活動を紹介できるギャラリーがあるほか、3階には女川湾を一望できる展望フロアがあります。

鹿に囲まれ、富士を眺める

浴室は、千住博氏による「霊峰富士」や「泉と鹿」といった作品に囲まれた特別な空間です。鹿に囲まれながら浴槽に浸かり、富士を眺める至福のひとつときをお過ごしください。

復興を見守るタイルアート

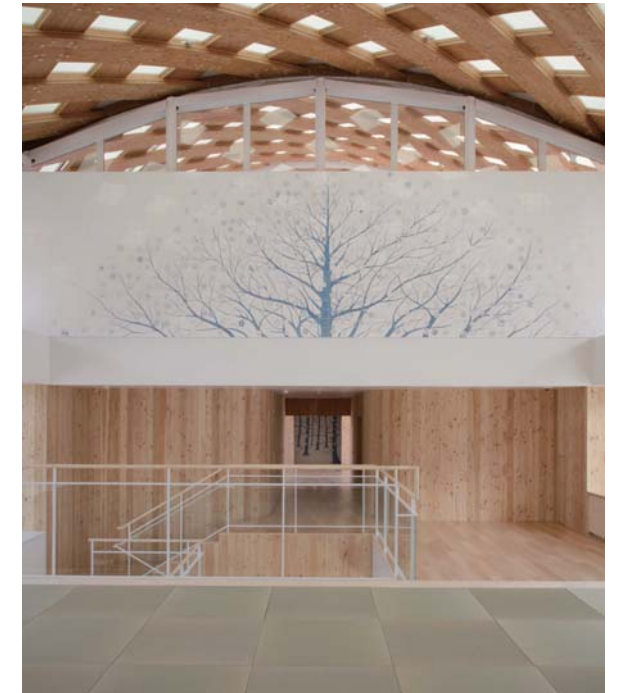
施設内の壁面には、日本画家の千住博氏と、デザイナーの水戸岡鋭治氏のお二人をアートディレクターに迎え、花の絵を公募して大きなタイルアートを描きました。花の絵ひとつずつに思いが込められ、女川の復興を見守り続けます。



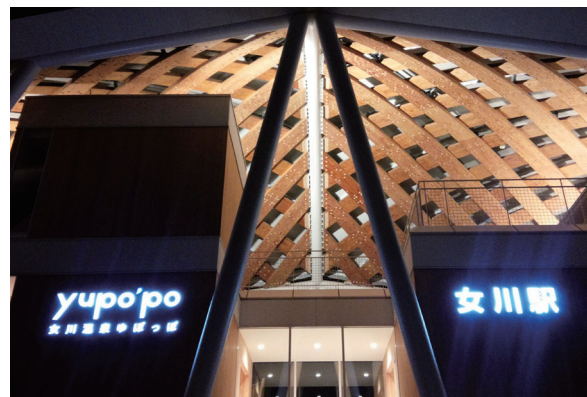
JR女川駅 + 女川町温泉浴施設「女川温泉ゆぼっぼ」



浴室「霊峰富士」



休憩所「家族樹」



夜景



ギャラリー



浴室「泉と鹿」

